

# なごや通信

第三十五号 平成二十四年七月  
日本会議 名古屋支部 事務局  
052-1763-4588

奉 慎 仁 親 王 殿 下

寛仁親王殿下におかれましては、六月六日午後三時三十五分、杏雲堂病院において、薨去遊ばされました。御年六十六歳、皇位継承順位は第六位であられました。謹んで奉悼の誠を捧げます。寛仁親王殿下について特に思い起こされますのは、平成十七年に「女系天皇」容認の皇室典範改定の動きが起こった際、福祉団体の会報を通し、神武天皇以来の男系継承による万世一系の皇室伝統の重みをお示し下さったことです。また、「皇室と日本人―寛仁親王殿下 お伺い申し上げます」(明成社)の刊行をお許しいただいたことで、私どもはさらに意を強くして万世一系の皇統を守る運動を推進することができました。皇室の「藩屏」としての宮家のお役割を全うされた殿下の御心を仰ぎ、皇室をお守りしていくことをお誓い申し上げます。

## 報告・沖縄県祖国復帰四十周年記念式典参加



写真前列中央が三好達日本会議会長、向かってその右隣りが本誌「コーシンの世相談義」でお馴染みの漫画家の高信

去る五月十一日、沖縄県祖国復帰四十周年記念式典が盛大に開催され、東海地区から二十名近くも参加致しました。詳細は本誌の今月号をご覧ください。くとして、参加者の感想文を紹介いたします。

「今回の沖縄訪問は、私の人生の節目となった。沖縄の尊い犠牲の上に、今日の自分があることを確信させていただいた。そして今後は沖縄の方々にご恩をお返ししなければならぬと思つたのである。いま沖縄は中国の脅威にさらされている。天皇陛下は誰よりも沖縄に深い思いをお寄せになつていらっしゃる。私たち国民は天皇陛下の

御心を鑑として、沖縄の方々と心を寄せ合つて行くことが大切なつとめであると思えてならなかった。また戦績巡りにも同道させていただいた。特に海軍壕や白梅の塔では、若き純粹な魂が私たちに語りかけているような気がしてならなかった。『沖縄は日本である。どこまでも日本人なんだ。』と。祖国復帰四十年、この意味を深く考えて行きたい。昭和天皇御製『思わざる病となりぬ沖縄を訪ねて果たさむ勤めありしを』を拝誦しながら。ご一緒させていただいた方々に心より感謝申し上げます。」

## ご案内・愛知竹田研究会

- 「古事記編纂千三百年を迎えて『古事記』連続講座」
- 日時・七月八日(日)午後一時半開場・二時開会(四時半閉会)
- 会場・アパホテル名古屋錦・十一階 電話052-953-5111
- 会費・二千元(初参加者と学生は無料) 事前に申し込みが必要です。
- 懇親会・四千五百円(希望者のみ、竹田恒泰先生と親しく懇談できます)
- お申し込み先・愛知竹田研究会・090-6466-1592(服部)

## ご案内・日本会議会員の地区集会を行います

近日中に、豊田市周辺、知多市周辺、一宮周辺で地区懇親会を開催します。ご地元の社務所か集会所をお借りして、お茶を飲みながらの懇談会です。愛知県本部からは、理事長はじめ、事務局長が出席しますが、こちらからお伝えするより、会員の皆さまのご意見やご希望を拝聴する時間を沢山お取りします。往復はがきで該当地域の会員様に漏れなくご案内致しますが、御入会者でも日本会議にご興味ある方がいらっしゃいましたら、是非お誘いください。

## ●愛知県護国神社清掃奉仕予定 毎月の第一日曜です

七月一日、八月五日、午前七時開始、八時終了。九月二日から八時開始です。お間違いないように願います。軍手持参下さい。小雨なら社屋の拭き掃除しますので雑巾持参下さい。大雨は中止です。六月のご奉仕には三名の新規の方がいらつしやいました。本当にありがとうございます。私たちは、祖国繁栄の礎になられた英霊の御霊に感謝を形でお示ししております。

●「日本の息吹」を「こども」購読下さり、誠にありがとうございます。引き続き「継続」をお願いします。